

OJT 研修兼メンターチーム会

生徒指導について



先日のOJT研修では、久米田先生から生徒指導のポイントや普段心掛けていること等を教えていただきました。たくさん教わりましたが、その中から抜粋して紹介させていただきます。

講話依頼内容

- ①トラブルがあったときの生徒への聞き取りポイント
- ②生徒間トラブル(いじめなど)で聞き取りした生徒同士の内容が一致しないときの対応
- ③指導するうえで心掛けていること
- ④反省の色が見られない生徒の場合、どんな対応をしているか

①②に関して

- ・聞くことと指導することを同時に行わない方が良い。叱ることを前提とした聞き取りではしゃべらないことにつながる。
- ・一人一人分かれて聞き、教員同士、次の聞き取りや指導の打ち合わせを行う。(事前の打ち合わせも行う。)
- ・加害の方は、事実を隠したりごまかしたりすることもあることを前提として、一度逃げ道をつくることもしている。「でもこんなことを聞いたのだけれど、どうなんだろう? 忘れることもあるよね。」(聞く姿勢を見せる)
- ・両方を助けたいという教師側の気持ちを伝える。

③に関して

- ・聞き取りや指導が終わった後、生徒の表情を見たり、もやもやしていることはないかをたずねたりする。(納得しているか)
- ・生徒が家に帰って保護者に話す前に、先に保護者に説明する。
- ・保護者には事実だけを伝えるのではなく、今後一緒に子供を見守っていきましょうという姿勢を伝える。
- ・チームで取り組む。

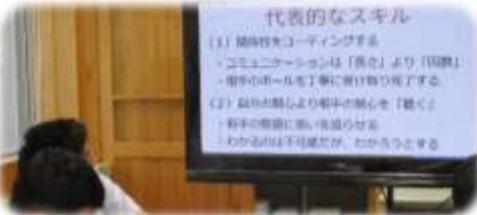
④に関して

- ・大事にしてほしいことを生徒に分かるように伝える。1回では難しいかもしれないが、何度も話す。「何がいけなかったのか」「どんな危険があったか」を考えさせていく。
- ・大事にすることを譲らない(ぶれないようにする)。その上で、「分かってもらうために何ができるか」や、「なぜその生徒がそのようなことをするのか」分かろうとすることが大切である。

夏季休業中の自主研修

- ①NITSの動画を1つ視聴し、スライドを作成(4枚程度)
+
- ②夏休みの思い出を1枚

自主的な取組の交流 ～NITS 校内研修シリーズを視聴して～ 第2弾



白木先生

「コーチングのスキルと活用 I」
NITS 校内研修シリーズ No.66

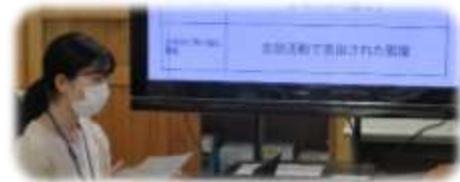


中前先生

「発達の段階に応じた道徳科の指導」
NITS 校内研修シリーズ No.67

今回も引き続き、夏休みの自主研修について発表していただきました。(時間の関係で治面地先生には次回発表していただきます。)

それぞれの発表から学ぶことがたくさんあり、メンターチームの中だけではもったいないと思ったほどです。一人の発表時間は約4,5分です。もし、かまわない時間がありましたら、ぜひ、学年部会や教科会等でも聞く場を設定していただけるとありがたいです。



坂本先生

「新学習指導要領に対応した学習評価(外国語)」
NITS 校内研修シリーズ No.58



野並先生

「いじめのとりえ方と予防」
NITS 校内研修シリーズ No.56



夏休みの思い出の紹介場面

元気で爽やかさ、温かい気持ちをいただきました。